

承合事項3.「教育・学習支援活動の状況について」集計結果

大学名	内 容 (自 由 記 述)
兵庫教育大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学では、本年度より、学部1年生を対象に、4年間の大学生活を送る上で必要なビジョンと基礎的なアカデミック能力を育成するため、1年間を通して必須科目「初年次セミナー」を開講している。 ・ その中で、「情報検索・収集の基礎知識」という講義(90分)を図書館員が担当した。内容としては、大学での学習や研究活動への対応という観点から、大学図書館の役割や資料等の解説とともに、OPAC検索や文献探索・情報検索に関する初歩的なスキルを身につけさせることを主眼に講義を行った。 ・ その他、本年度は、教員1名からの依頼により、担当する科目の修士課程1年生を対象に文献探索の入門編として、電子ジャーナルや二次情報データベースの利用方法について講義をした。
神戸大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後述いたします(P49)。
神戸市外国語大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の依頼に基づきゼミ単位のガイダンスを実施。実施内容は図書館ツアーおよびOPACの使い方・情報の探し方など。
関西学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後述いたします(P50)。
神戸芸術工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学科のみ、教員からの希望で授業の1コマを使用して文献検索(OPAC、WebcatPlus、CiNii)、相互利用の説明などを行っている(約60分) ・ 新生向けの全体ガイダンスの中での利用案内 ・ 新生向け図書館ツアー(希望者のみ) 参加者は少ない
神戸松蔭女子学院大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『論文作成のためのガイダンス』を3-4年生向けに実施 ・ 新任教員のためのガイダンスを実施 ・ 非常勤教員へも推薦図書アンケートを年2回実施 ・ 『新聞記事の探し方』『レポート作成の流れ』等のチラシを作成、HPにも掲載 <p>教員が図書館蔵書構築へ積極的にかかわることが大切だと感じるが、現状は十分でない。 レポートの課題や推薦図書等の情報を図書館が共有することが必要。 シラバス上の参考資料は図書館で購入しているが、シラバスとのシステム連携がうまくいっていない。</p>
神戸薬科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在講義コマを使い、1年生を対象に図書館の利用法やガイダンスを行い、2年生対象では事前に、担当教員とシラバスに沿って打合せを行い、レポート作成や発表を行うにあたっての図書館利用の仕方をコンピュータを使い実習形式で行っている。 ・ 大学院生や教員対象にはデータベースの利用者講習会を開催し、研究支援活動を行っている。 ・ また、種々の情報を得るためのナビゲータ的な役割を果たすために図書館ホームページを充実させている。 ・ ホームページ上に利用者専用(ポータルサイト)のページであるマイライブラリを作成し、総合学習を支援している。 ・ 携帯電話から資料検索、貸出・予約状況が確認できる携帯版OPACも提供している。 ・ 本学教育センターと協力して、医薬系専門資料の充実を図り、実習などに活用できるよう整えている。

承合事項3.「教育・学習支援活動の状況について」集計結果

大学名	内 容 (自 由 記 述)
神戸山手大学 神戸山手短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 後述いたします(P51)。
聖トマス大学	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス(新入生必修「基礎演習」8クラス) 図書館の使い方 資料をデータベースで探す レポート・論文のまとめ方 レファレンスブックの使い方 そのうち と は、全てのクラスで実施した。 と は、教員の要望に応じて実施する予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス「データベースを使ってレポートを書く！」(データベース利用ガイダンス) 後期、木曜日3時限のSTUアワー(授業がない)の時間に院生、学生対象に 「Japan Knowledge」、「聞蔵」、「MagazinePlus」のガイダンスを実施する予定。
	<ul style="list-style-type: none"> 読書推進活動「読もう100冊！」 今年4月から入学から卒業までの4年間で100冊以上の図書を読むことを目標にはじめた。 趣旨は、1. 学生の「読書習慣」を身につけるきっかけをつくる 2. 学生のリテラシー(読み書き能力)の向上 3. 自分で考える能力、課題発見能力をつける 4. 図書館の利用の促進(貸出をのばす)である。 新入生の授業のなかで教員が学生に呼びかけている。
園田学院女子大学	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用教育 「図書館利用指導申込書」の提出により、図書の探し方・検索指導や館内の案内(図書館ツアー)などを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 情報検索指導 「文献検索指導申込書」の提出により、文献情報を効果的に検索する方法や相互利用サービスについて説明し、次にその実習を行う。
夙川学院短期大学	<ul style="list-style-type: none"> 指定図書のコーナーの設置(指定図書:教員が学生用推薦図書として選定した図書) 講義概要記載の参考文献の購入 情報検索指導については、新入生利用者ガイダンスでのデータベース紹介と、個別対応にとどまっている。

【神戸大学】

承合事項 3. 「教育・学習支援活動の状況について」集計結果

<平成 19 年度情報リテラシー教育支援>

- ・ 16 年度より設けられた全学共通必修科目「情報基礎」では、昨年度に引き続き約 45 分が「情報の活用：レポート・論文作成のための情報リソース活用法」にあてられ、5 月下旬～7 月上旬を中心に計 25 回（補講・再履修を含む）情報リテラシー係職員が講義（実習を含む）を行った。学部新入生全員に補講等を加え、約 2,700 人が受講対象であった。
- ・ 図書館ホームページ上のサービス紹介を満遍なく行う従来のスタイルを変更し、レポート・論文作成のため、各種データベースの紹介、所蔵検索 OPAC（実習を含む）・パーソナルサービス等を強調することとした。
- ・ なお、平成 20 年度前期には、担当係を中心にワーキンググループのメンバーによる講義（実習を含む 90 分）を計 23 回行った。

<平成 19 年度オリエンテーション、ガイダンス>

- ・ 情報リテラシー係を中心に以下のガイダンスを開催した

名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介・利用全般	4、10 月	5 分	六甲ホール	2	約 500 名
情報の探し方 OPAC ガイダンス	OPAC の検索方法、 資料入手方法	4 月中旬	60 分	総合図書館	15	114 名
情報の探し方ガイダンス (基本的な DB の使い方)	雑誌論文検索方法 「国内編」「海外編」「e-study」	5 月中旬	60 分	自然系図書館	15	54 名
情報の探し方ガイダンス (個々の DB の使い方)	JdreamII、Web of Science、日経テ レコン 21、聞蔵 II ビジュアル	6 月中旬	60 分	社会系図書館	8	133 名
情報の探し方ガイダンス (秋期 初級・中級編)	雑誌論文検索方法 「国内編」「海外編」	10 月下旬	60 分	自然系図書館	4	24 名
情報の探し方ガイダンス (秋期 初級・中級編)	雑誌論文検索方法 「国内編」「海外編」	10 月下旬	110 分	海事科学図書館	1	14 名
情報の探し方ガイダンス (秋期 初級・中級編)	雑誌論文検索方法 「国内編」と「海外編」	10 月下旬	60 分	保健科学図書室	2	22 名
SciFinder 講習会	SciFinder	6 月	90 分	自然系図書館	1	22 名
理・化学科 3 年生	雑誌論文検索 (4 月) SciFinder (6 月)	4 月、6 月	180 分	基盤センター 自然系図書館	2	32 名
オーダーガイダンス	雑誌論文検索方法 「国内編」「海外編」	5,6,9 月	60～120 分	国文・経済・理学 部等	4	34 名

<シラバス掲載資料>

- ・ 図書館ホームページ上に「シラバス掲載資料」として、シラバスから取り出したテキスト・参考図書をリスト化し、OPAC へのリンクを張った一覧表を掲載し利用に供している。

【関西学院大学】 承合事項3. 「教育・学習支援活動の状況について」集計結果

1. 2007年度 オリエンテーション・講習会

名 称	実施日時・回数	内 容 【申込・参加形態】	所要時間	広報手段	参加者数	2006年度実績
新入生対象「キャンパスライフABC! 2007」 図書館活用術教えます	4/6 3回	図書館ホールでHPやレポート作成に役立つ資料の紹介(パンフ等配布)を行う。説明後、館内へ誘導して解散。自由見学をしてもらう。【個人の当日参加】	各30分	学生課作成パンフ	99名、136名、95名 のみ10名 計340名	29名 31名 8名 計68名
新入生オリエンテーション <基礎演習対象>	4/9-5/18	図書館紹介スライドを用いて、大学図書館の基本的な利用方法を説明し、施設・設備を紹介する。その後、館内ツアーを行う。2007年度は内容と運用を大幅に改訂。【教員申込制】	50分	対象全教員に案内書・申込書送付、HPに案内	117ゼミ、3,113名	118ゼミ、3,059名
「学術情報探索講習会」 <研究演習対象>	4/9-通年	ゼミの研究テーマに沿った図書・資料の探し方の説明および検索実習を中心にゼミの時間内で実施。事前に担当教員と打ち合わせの上、実施内容を組み立てる。【教員申込制】	90分	対象全教員に案内書・申込書送付、HPに案内	41ゼミ、1,192名 (詳細別紙)	101ゼミ、1,630名
「文献の探し方講習会」 <基礎演習対象>	原則5/21-通年	図書・資料の探し方の説明および雑誌・新聞のデータベースの紹介を行う。参加者はワークシートの検索課題をして、提出。実施内容は教員の要望によりある程度変更可能。新入生オリエンテーションの第二段階。【教員申込制】	90分	対象全教員に案内書・申込書送付、HPに案内	77ゼミ、1,313名 (詳細別紙)	
「レポート対策講座」 図書・雑誌編	6/18-6/29 1日2回	30分間でレポート作成に役立つ基本的な文献探索の説明を行う。個人対象の図書と雑誌の各講習会をそれぞれ実施。【個人の事前申込制で、出席者なしならキャンセル】	30分	館内にポスター掲示および申込書配布、HPとKGJ' r-7kに案内	12回実施、25名	13名
「文献の探し方」卒論編	10/9-10/26 申込に応じて	60~90分程度で、卒論執筆に必要な文献収集の方法を説明し、情報検索の指導する。マンツーマンあるいは少人数のグループで実施。【個人事前申込制】	60~90分	館内掲示と申込書配布	19回実施、計24名	36回実施、計44名
授業・試験に配慮を必要とする利用者対象	4月上旬 申込に応じて	館内ツアーを行いながら、基本的な大学図書館の利用方法の説明を行う。【学部等を通じて事前申込】	??分	キャンパス自立支援課を通じて	1名	2回実施、計2名
経営戦略研究科院生 (企業経営戦略コース、 国際経営コース、会計専門職 専攻)対象	春: 4/2 秋: 9/21 春のみ: 4/7	大学図書館の概要、梅田からの取り寄せ等サービスの説明をし、オンライン目録やビジネス関係データベース等の紹介も行う。OPACのID申請方法の案内。IBAの新入生オリエンテーションとして大学院棟で行う。【全員参加】	春: 15分 秋: 90分	IBA事務室経由で案内書配布	春: 172名 秋: 37名	春: 約135名 秋: 約50名
司法研究科院生 (未修者・既修者)対象	4/5-6 各2回 4/6 1回	<未修>館内ツアーを行いながら、大学図書館の利用方法を説明し、後ほどオンライン目録や法律・判例関係データベース等を紹介。基礎演習(7組)単位。【原則全員参加】	80分	司法研究科事務室経由で案内書配布	4回で計63名 【対象者: 65名】	4回で計48名 【対象者: 59名】
経済学研究科・エコノミスト コース院生対象	4/2	<既修>館内ツアーを行いながら、大学図書館の利用方法を説明し、後ほどオンライン目録や法律・判例関係データベース等を紹介。【個人申込制】	80分	司法研究科事務室経由で案内書・申込書配布	1回実施で38名 【対象者: 82名】	2回実施で計11名 【対象者: 71名】
経済学研究科・エコノミスト コース院生対象	4/2	館内ツアーを行いながら、大学図書館の利用方法を説明し、オンライン目録やビジネス関係データベース等の紹介も簡単に行う。【個人の当日参加】	30分	経済学部事務室から案内	16名 【対象者: 20名】	4名 【対象者: 8名】
言語コミュニケーション文化・ 研究科院生対象	3/24(課題研究) 4/4(修論コース)	館内ツアーを行いながら、大学図書館の利用方法を説明し、オンライン目録やデータベースの紹介も行う。【原則全員参加】	60分	言コミ事務室から案内	(課題研究)5名 (修論)25名 【対象者: 32名】	(課題研究)3名 (修論)14名 【対象者: 19名】
交換学生(留学生)対象	春: 4/5 秋: 9/20	図書館紹介スライド(英語版)を用いて、大学図書館の基本的な利用方法を説明し、施設・設備を紹介する。その後、館内ツアー(日本語)を行う。【全員参加】	60分	国際協力・研究課から案内	春: 26名 秋: 63名	春: 22名 秋: 61名
新任教員対象	5月中旬- 申込に応じて IEFLは春・秋1回	マンツーマンで大学図書館の利用方法や相互利用制度等について説明する。希望に応じて、オンライン目録やデータベース等の検索実習を行う。【個人申込制】	30~60分	新任教員オリエン時に案内書等配布	1名	2名 それ以外に新任 IEFL4名、客員教授2名
一般公開登録者対象	春: 4/4、4/7 秋: 10/6	基本的な大学図書館の利用方法を説明し、館内ツアーやオンライン目録の検索実習も行う。【個人申込制】	120分	通知書送付時に案内書同封	春: 2回実施で23名 秋: 1回実施で14名	春: 3回実施で30名 秋: 1回実施で8名
中学部生対象	6/21、6/22	図書館紹介スライドを用いて、大学図書館の基本的な利用方法を説明し、施設・設備を紹介する。その後、館内ツアーを行う。【全員参加】	90分	-	約180名	約180名
啓明学院中学校生対象	6/16	図書館紹介スライドを用いて、大学図書館の基本的な利用方法を説明し、施設・設備を紹介する。その後、館内ツアーを行う。【全員参加】	90分	-	約170名	約170名

2. 授業支援

文学部開講の「情報処理基礎」(半期、履修基準年度:1年生)内で、オンライン目録(OPAC)を中心とした文献探索の説明および実習を行なった。

	実施回数	参加者数
春学期	5回	328人
秋学期	4回	234人

【神戸山手大学・神戸山手短期大学】

承合事項 3. 「教育・学習支援活動の状況について」集計結果

今年度本館では、以下の取り組みをおこなった。

1. 入学時の導入教育における図書館オリエンテーション

昨年度までおこなっていた図書館利用ガイダンスに資料検索実習を加え、「図書館オリエンテーション」として実施した。授業内容の詳細は以下のとおりである。

なお、これまでのガイダンスは導入教育クラス担当教員が実施していたが、今年度は図書館職員が担当した。

図書館オリエンテーション： 実習【探す・調べる・まとめる】

(1) 図書館の利用方法、サービス紹介

- DVD「情報の達人」第1巻0章に基づく説明、紹介
- 「情報処理のてびき」(学内作成テキスト)に基づく説明、紹介

(2) 資料の探し方(キーワードを決めて)

- 事典等を用いて
- 図書館ホームページ(OPAC)を用いて
- データベースを用いて(日経BP・ヨミダス文書館)

2. ゼミにおける「レポート作成講座」

1年生ゼミ、2年生ゼミそれぞれから1クラスずつを対象に、6コマ程度を用いた「レポート作成講座」をおこなった。

本講座の目標は、レポート作成の過程において、いきあたりばつりに偶然手に入った情報のみを用いるのではなく、系統立てて情報を検索することの重要性を理解させることである。なお、本講座はゼミクラス担当教員と図書館職員が共同で実施した。講座内容の詳細は以下のとおりである。

レポート作成講座：

(1) テーマに沿った「キーワード群」からひとつを選び、百科事典・辞書等で調べる。そして、そこに書かれている内容を要約し、レポート用紙に書き写す。

(2) 以下のさまざまな資料を用いてさらに詳しく調べ、要約する。

- 新聞記事(ヨミダス文書館)
- 図書(自館OPAC)
- 雑誌記事(CiNii)

(3) これまでに要約したものをつなぎ合わせ、自分の意見を盛り込み、まとめる。

以上